

福島第一原子力発電所 地盤調査用地震観測装置（南地点）の 制御・記録装置の不具合に伴う交換について

< 参考資料 >
2021年9月29日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所においては、6号機地震計により地震の観測・記録（※1）を行い、運用・公表を行っています。また、3号機地震計では、3号機原子炉建屋全体の経年変化の傾向を把握するための地震の観測・記録を行っています。
- 1992年、耐震設計・評価時に用いる基準地震動（※2）の策定のため、発電所構内の2地点（北地点・南地点）に、地盤調査用地震観測装置（自由地盤系※3）を設置し、2008年に基準地震動を策定後も、大規模な地震が発生した際、基準地震動や過去の地震記録との比較等に用いています。
- 構内の南地点の制御・記録装置において、9月17日に地震観測データが記録できない不具合を確認したことから、10月1日に現在使用している制御・記録装置と同等品に交換を行う予定です。
- なお、構内の北地点においては地震動の観測・記録を継続しており、基準地震動や過去の地震記録との比較ができる状況です。

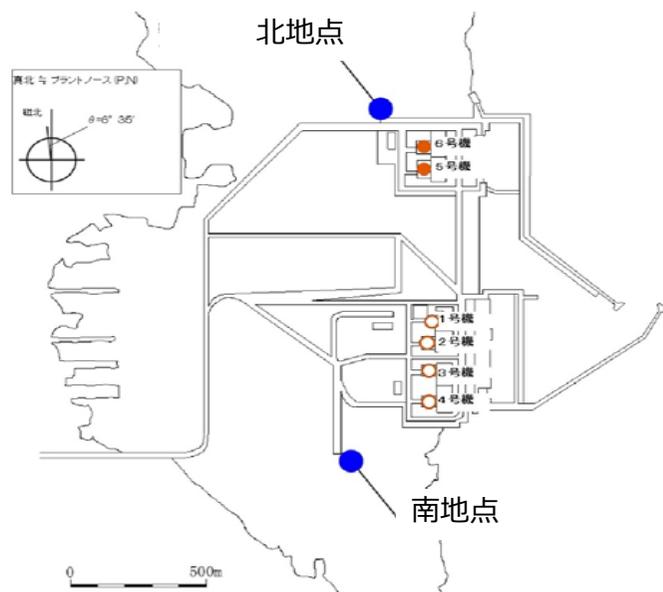


図1. 地盤調査用地震観測装置（自由地盤系）の配置

地震観測データ
(信号)の流れ



地中の
加速度計

写真1. 制御・記録装置等

※1：バックアップとして5号機地震計を使用 ※2：原子力発電所の耐震設計において基準とする地震動 ※3：建物や構造物の影響を受けない地盤の観測点